



今日も!

胸を張って、元気よく!!

福岡市議会議員

# 田中しんすけ

議会通信 第27号 2014年春号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ  
(民主・市民クラブ)  
〒810-0014  
福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201  
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221  
URL: http://www.tanakashinsuke.jp  
E-mail: info@tanakashinsuke.jp

議会を  
変える。  
暮らしを  
守る!

平成26年度予算議会

今年度予算のテーマは「人づくり」

「学校教育のあるべき姿」について、  
市議会で提案しました!!



他都市にみる  
教育先進事例  
紹介

## 「生きる力」を育む、他都市にみる教育先進事例

### 京都まなびの街・生き方探究館

京都市では、統廃合で利用されなくなった中学校舎を活用し、「スチューデントシティ」や「ファイナンスパーク」といった、小学生から中学生までが特定の時期にキャリア教育を集中的に受けることができる体験型の学習施設が整備されています。今回の質問でも、福岡市も同様の施設を整備すべきと提案しました。



#### スチューデントシティ

銀行・商店・新聞社・区役所等13ブースからなる街を設置し、社員(職員)と消費者の両方を体验する。

#### ファイナンスパーク

不動産・電力・水道・自動車・趣味・娛樂に関する事業所など17ブースからなる街を設置し、税金・保険はじめ食費や光熱水費、住宅費など生活に必要な費用の試算、商品やサービスの購入・契約等を体验する。

▲廃校になった中学校を有効活用

### 市民科 ~シティズンシップを育む独自科目~

東京都品川区では、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合し「市民科」を創設、元々の科目が伝えるべき理念は大切にしつつも、より実学的な内容を盛り込んだ単元で構成する授業を展開しています。「市民科」は、児童生徒一人ひとりが自らのあり方や生き方を自覚し、生きる道筋を見つけながら自らの人生観を構築する基盤となる資質と能力を育成することを目的としています。

福岡市でも、品川区に倣ってこのような科目統合を実施し、社会性に富んだ創造的な人材を育むことを目的とする独自科目の設定を検討すべきだと訴えました。



▲「市民科」の授業で使用される教科書

待ち遠しかった春到来です。今春から福岡市で新たな生活をスタートされる方も多いと思います。新たな出会いがあると思うと、心が躍りますね。田中しんすけも年度が改まり心機一転、議会で地域でしっかりと活動していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回の議会通信では、先に開催された福岡市議会3月予算議会における「補足質疑」の内容を中心にレポートします。※2月議会における補正予算案に対する「議案質疑」の詳細については、裏面記事をご覧ください。

## 学校教育のあり方を問う! ~教育施策について様々な視点から提案~ 次代を担う子どもたちが幸せに生きていくために

### 今こそ「教育の目的」を見つめ直す

### 義務教育期に育まれるべき3つの力

#### 1. 仮説検証能力

次代を担う子どもたちが幸せに生きていくために必要な力とは何か。一つ目の力は、『自ら目標を立て、その達成に向けて努力できる力(=仮説検証能力)』です。これは、国が定義している「生きる力」を構成する要素の一つ「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」とほぼ同意とされています。先ほどの物語の話に例えるならば、「物語のシナリオを作り、必要なヒト・モノを洗い出す力」と言えるかもしれません。

#### 2. シティズンシップ

二つ目の力は、『社会に参画しようとする態度とスキル(=シティズンシップ)』です。簡潔に言えば「個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質」です。政治参加、司法参加、経済参加をする態度と素養を指します。自分を主人公としたような成果を目指すのか?、「どのような力の修得を目指すのか?」といった明確な目標が設定されず、それが原因でPDCAサイクルが教育行政、学校、学習者の各レベルで十分に機能していない、ということです。

#### 3. 人間関係形成力

三つ目の力は、『友達を増やし、人生を共にする仲間をつくる力(=人間関係形成力)』です。物語の例で言えば、自身の物語に登場する登場人物をキャスティングする力です。小さいころから「学校では友達をたくさん作りなさい」、「友達には優しく接しなさい」と教えられるわけですが、それは道徳的な側面のみにとどまりません。自身の人生をよりよく生きるために、自身の将来の夢を叶えるためには頼りになる仲間がたくさんいた方が良い、という点を理解することが重要です。

## 教育の成果を確かめる 「指標づくり」を急げ!

今回の質疑を通して明らかになったのは、①「創造的な人材」を育成するための指針が現行の『新しいふくおかの教育計画』において明確になっていない、②教育行政においては特定の施策や取り組みに関して「どのような成果を目指すのか?」、「どのような力の修得を目指すのか?」といった明確な目標が設定されず、それが原因でPDCAサイクルが教育行政、学校、学習者の各レベルで十分に機能していない、ということです。

そこで、①「仮説検証能力」、「シティズンシップ」、「人間関係形成力」といったように、児童・生徒が修得すべき能力をより具体的に明確に『新しいふくおかの教育計画』に示すこと、②今後の『新しいふくおかの教育計画』の事業評価に関しては、「児童・生徒がそのような力をしっかりと修得できたか」を客観的に評価できるような指標や仕組みを取り入れるべき、という2点を提案しました。

## まちゼミ 大好評! 第1回「平尾まちゼミ」が開催されました!

### 多くのみなさんにご参加いただきました!

平尾商工連合会が企画した「得する街のゼミナール(通称:まちゼミ)」が本年1月13日から2月14日までのおよそひと月にわたって開催されました。第1回目となる今回は19店舗が参加、合計31講座を開設しましたが、各種新聞・テレビに取り上げられたおかげで予想以上の大きな反響を頂き、初めての開催にもかかわらず約200名の受講生を集めることができました。

思い返せば、田中しんすけが岡崎市におけるまちゼミの取り組み(岡崎市はまちゼミ発祥の地です!)を視察調査したのが昨年の3月。あれからおよそ一年をかけて企画から準備、そして運営にまで携わりました。個人的にも強い思い入れがあった平尾まちゼミにご協力頂いたみなさんに対して、連合会の活動にかかわる一人として厚く御礼申し上げます。

### これからのおまちゼミにこうご期待!



次回の「平尾まちゼミ」は、今年の夏ごろに開催を予定しています。アンケート時に寄せられたまちゼミ受講生のみなさんの声を反映し、参加店舗や講座数をやすことはもちろん、より良い内容にしていきたいと思います。



▲絵本づくりに挑戦する受講生のみなさん



▲新聞各紙でも大々的に取り上げられました。

### 開催!

## ワカモノガタリ2014 in 福岡

3月8日、民主党福岡県連青年委員会学生部(リユーズ)が主催する「ワカモノガタリ2014 in 福岡」が中央区天神にて開催されました。この企画には福岡県連・兵庫県連・佐賀県連で活動する地方議員10名と、各議員事務所にインターとして所属している学生約20名が参加しました。

当日はワールド・カフェ形式を取り入れた意見交換会やご当地クイズ大会、インターン学生による演説大会など一日がかりで盛りだくさんの内容。参加した学生のみなさんは「様々なトピックについて議論を交わすことができて楽しかった」「政治家の視点で物事を考えることは新鮮だった」と好評を得ました。学生部には今後とも、若者と政治をつなぐ活動を進めて欲しいと思います。



▲田中事務所のインターン生も大活躍!



521-3650

### 田中しんすけ

昭和53年6月14日生まれ(35歳)

1991年	西高宮小学校	卒業
1994年	西南学院中学校	卒業
1997年	筑紫丘高等学校	卒業
2001年	九州大学法学部	卒業
2004年	早稲田大学大学院 政治学研究科修士課程	修了
同 年	アクセンチュア株式会社	入社
2007年	福岡市議会議員(1期)	
2011年	福岡市議会議員(2期)	

1991年 西高宮小学校 卒業  
1994年 西南学院中学校 卒業  
1997年 筑紫丘高等学校 卒業  
2001年 九州大学法学部 卒業  
2004年 早稲田大学大学院  
政治学研究科修士課程 修了  
同 年 アクセンチュア株式会社 入社  
2007年 福岡市議会議員(1期)  
2011年 福岡市議会議員(2期)

田中しんすけ 市政相談承ります!



平成26年度予算議会

今年度予算のテーマは「人づくり」

『学校教育のあるべき姿』について、  
市議会で提案しました!!

# 今日も! 胸を張って、元気よく!!

## 福岡市議会議員 田中しんすけ

議会通信 第27号 2014年春号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ  
〒810-0014 (民主・市民クラブ)  
福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201  
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221  
URL: <http://www.tanakashinsuke.jp>  
E-mail: [info@tanakashinsuke.jp](mailto:info@tanakashinsuke.jp)

議会を  
変える。  
暮らしを  
守る!



他都市にみる  
教育先進事例  
紹介

## 「生きる力」を育む、他都市にみる教育先進事例

### 京都まなびの街・生き方探究館

京都市では、統廃合で利用されなくなった中学校舎を活用し、「スチューデントシティ」や「ファイナンスパーク」といった、小学生から中学生までが特定の時期にキャリア教育を集中的に受けることができる体験型の学習施設が整備されています。今回の質問でも、福岡市も同様の施設を整備すべきと提案しました。



▲廃校になった中学校を有効活用

#### スチューデントシティ

銀行・商店・新聞社・区役所等13ブースからなる街を設置し、社員(職員)と消費者の両方を体験する。

#### ファイナンスパーク

不動産・電力・水道・自動車・趣味娯楽に関する事業所など17ブースからなる街を設置し、税金・保険をはじめ食費や光熱水費、住宅費など生活に必要な費用の試算、商品やサービスの購入・契約等を体験する。



▲「市民科」の授業で使用される教科書

### 市民科 ~シティズンシップを育む独自科目~

東京都品川区では、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合し「市民科」を創設、元々の科目が伝えるべき理念は大切にしつつも、より実学的な内容を盛り込んだ単元で構成する授業を展開しています。「市民科」は、児童生徒一人ひとりが自らのあり方や生き方を自覚し、生きる道筋を見つけながら自らの人生観を構築する基盤となる資質と能力を育成すること目的としています。

福岡市でも、品川区に倣ってこのような科目統合を実施し、社会性に富んだ創造的な人材を育むことを目的とする独自科目の設定を検討すべきだと訴えました。

## まちゼミ 大好評! 第1回「平尾まちゼミ」が開催されました!

多くのみなさんにご参加いただきました!

平尾商工連合会が企画した「得する街のゼミナール(通称:まちゼミ)」が本年1月13日から2月14日までのおよそひと月にわたって開催されました。第1回目となる今回は19店舗が参加、合計31講座を開設しましたが、各種新聞・テレビに取り上げられたおかげで予想以上の大きな反響を頂き、初めての開催にもかかわらず約200名の受講生を集めることができました。

思い返せば、田中しんすけが岡崎市におけるまちゼミの取り組み(岡崎市はまちゼミ発祥の地です!)を視察調査したのが昨年の3月。あれからおよそ一年をかけて企画から準備、そして運営にまで携わりました。個人的にも強い思い入れがあった平尾まちゼミにご協力頂いたみなさんに対して、連合会の活動にかかわる一人として厚く御礼申し上げます。

### これから「平尾まちゼミ」にこうぞ期待!

次回の「平尾まちゼミ」は、今年の夏ごろに開催を予定しています。アンケート時に寄せられたまちゼミ受講生のみなさんの声を反映し、参加店舗や講座数を増やすことはもちろん、より良い内容にしていきたいと思います。



▲絵本づくりに挑戦する受講生のみなさん



▲新聞各紙でも大々的に取り上げられました。

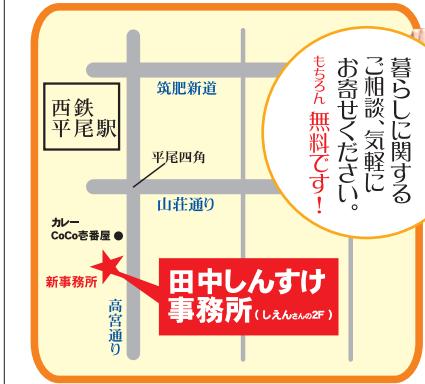
## 開催! ワカモノガタリ2014 in 福岡

3月8日、民主党福岡県連青年委員会学生部(リユーズ)が主催する「ワカモノガタリ2014 in 福岡」が中央区天神にて開催されました。この企画には福岡県連・兵庫県連・佐賀県連で活動する地方議員10名と、各議員事務所にインターとして所属している学生約20名が参加しました。

当日はワールド・カフェ形式を取り入れた意見交換会やご当地クイズ大会、インターン学生による演説大会など一日がかりで盛りだくさんの内容。参加した学生のみなさんからは「様々なトピックについて議論を交わすことができて楽しかった」「政治家の視点で物事を考えることは新鮮だった」と好評を得ました。学生部には今後とも、若者と政治をつなぐ活動を進めて欲しいと思います。



▲田中事務所のインターン生も大活躍!



521-3650

田中しんすけ

昭和53年6月14日生まれ(35歳)

田中しんすけ  
市政相談承ります!

### 今こそ「教育の目的」を見つめ直す //

### 義務教育期に育まれるべき3つの力 //

#### 1. 仮説検証能力

次代を担う子どもたちが幸せに生きていくために必要な力とは何か。一つ目の力は、『自ら目標を立て、その達成に向けて努力できる力(=仮説検証能力)』です。これは、国が定義している「生きる力」を構成する要素の一つ「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」とほぼ同義とされています。先ほどの物語の話に例えるならば、「物語のシナリオを作り、必要なヒト・モノを洗い出す力」と言えるかもしれません。

#### 2. シティズンシップ

二つ目の力は、『社会に参画しようとする態度とスキル(=シティズンシップ)』です。簡潔に言えば「個人としての権利と義務行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質」です。政治参加、司法参加、経済参加をする態度と素養を指します。自分を主人公とした物語で言えば、自身が活動する舞台(フィールド)を広げていく力だと思います。

#### 3. 人間関係形成力

三つ目の力は、『友達を増やし、人生を共にする仲間をつくる力(=人間関係形成力)』です。物語の例で言えば、自身の物語に登場する登場人物をキャスティングする力です。小さいころから「学校では友達をたくさん作りなさい」、「友達には優しく接しなさい」と教えられるわけですが、それは道徳的な側面のみにとどまりません。自身の人生をよりよく生きるために、自身の将来の夢を叶えるためには頼りになる仲間がたくさんいた方が良い、という点を理解することが重要です。